

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

事務事業名	コード	10000 民生児童委員活動費	予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
施策体系	基本施策	8 地域福祉の充実	根拠法令	民生委員法						
	施策の展開	18 地域福祉の推進	戦略事業	98 民生児童委員活動事業						
	施策の展開		戦略事業							

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	民生委員・児童委員は、法律により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティア。民生委員・児童委員の中には、児童を専門に担当する「主任児童委員」がいる。地域を見守り、地域の方からの相談内容に応じて、必要な支援を受けることができるよう行政や専門機関等へつなぎ、課題が解決できるよう寄り添う。専門職ではない一方で、安心して相談できるよう、法による守秘義務がある。委員の任期は3年で、各地区長等から適任者の推薦を受け、旭市民生委員・児童委員推薦委員会で審査し、県へ推薦書類を提出。その後、厚生労働大臣の委嘱を受け就任する。地域福祉を支援するため、旭市民生委員・児童委員連絡協議会へ補助金を交付する。また、各地区の民生委員・児童委員協議会の研修会や活動を補助し、円滑な運営を支援する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
制度は、大正6年に岡山県で公布された救世顧問設置規定に始まる。現在、当市では民生委員・児童委員141人、うち18人の主任児童委員が活動している。旭地区に6単位、飯岡地区、海上地区、干潟地区に各1単位、計9単位民児協があり、補助金を活用し、地域の見守りを始め民生委員活動に精力的に取り組んでいる。	地域コミュニティが衰退する中で地域内の社会的弱者を把握するため、包括支援等福祉行政からの情報は不可欠である。民生委員・児童委員の活動は、個人情報と密接な関係にあることから責任の重い役割であり、敬遠されがちで後継者の選任が難しい。また、長引くコロナ禍で、感染リスクの高い高齢者と密接に係ることが多いため活動が思うようにできない。	3年の任期の長さや活動量の多さから、後継者がなかなか見つからない。受け持ち地域の高齢者の把握と啓発活動を兼ね、市から給付する長寿祝金を民生委員・児童委員が訪問配布しているが、現金の受け渡しによるトラブル等から振込支給にしてほしいとの委員からの要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1. 民生委員連絡協議会運営補助金	3,393 25,000円×9人+24,000円×132人
2. 報酬	66 推薦会委員報酬(1回)
3. 賞賜金	
4. 食料費	8 会議時お茶代
5. その他	19 住宅地図等購入
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	
2. 都道府県支出金	811 民生委員協議会交付金5,750円×141人 ※民生委員推薦会交付金なし。
3. 地方債	
4. その他	

事業費	費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
	1. 民生委員連絡協議会運営補助金	千円	3,393	3,393	3,375	3,393	3,417
財源	2. 報酬	千円	126		138	66	144
	3. 賞賜金	千円			99		
	4. 食料費	千円	3		17	8	19
	5. その他	千円			11	19	63
	事業費計(A)	千円	3,522	3,393	3,640	3,486	3,643
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	518	528	538	811	816
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	3,004	2,865	3,102	2,675	2,827

前年度増減理由	前年度は民生委員推薦会の開催あり。
---------	-------------------

従事職員数 常時 4人 最大 6人 × 2日 = 延べ 12人

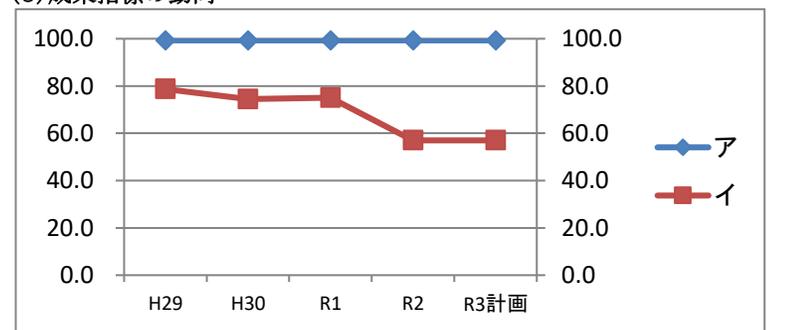
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) ・民生委員連絡協議会運営補助金交付(4月)・長寿祝金の配付事務(9月) ・民生委員連絡協議会理事会の開催事務(4・7・8・10・12・2・3月) ・民生委員児童委員委嘱状交付式事務(4・12月) ・高齢者・障害者問題対策部会事務(7・3月) ・女性・児童問題対策部会事務(10・3月) ・民生委員推薦会開催(飯岡地区欠員補充推薦)(9月)			回	8	8	10	7
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 市民 意図 地域の中で見守られて安心して生活できる 対象意図			%	99.3	99.3	99.3	99.3
		民生委員・児童委員の定員充足率						
		民生委員・児童委員一人当たり延べ活動件数	件	78.7	74.5	75.0	57.0	57.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
	大きい	②	下位 1/3	中位 1/3
普通				
小さい				
		①		
		②	(2)	
		③		
		④⑤		
		⑥		
		⑦⑧		
		⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	コロナ禍における活動制限はあるが、地域の見守り活動等、可能な範囲で情報収集に努めたり、単位民児協定例会では委員同士、コロナ禍における活動の工夫や注意点を発表する等、精力的に活動できている。				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値減=成果向上	比較
【コメント】(低下の場合、その理由)	新生活様式に即した活動となり、また研修会等の中止が多く、大幅に活動件数が減少したが、可能な範囲での活動としては、例年並みに入っている。				成果動向	
③ 今年度取組事項(3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性			
	6~3月	新生活様式に即した民生委員・児童委員活動をしていくための見直しとして、例年民生委員・児童委員が訪問配付している長寿祝金を、口座振込で支給する。	6~3月	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	
					6月 民生委員へ説明、意見聴取、7月 対象者へ通知 7~9月 返信受付、口座情報入力、9/15 祝金振り込み支給 ~3月 随時支給 民生委員による支給希望者分は、例年どおり依頼する。	